

番組小学校創設150周年記念シンポジウム

※平成30年度
文化庁 地域の美術館・
歴史博物館を
中核としたクラスター
形成事業

学校資料の 活用を考える

— 学校資料の価値と可能性 —

3.10²⁰¹⁹
⑧

10:00-15:30 開場 9:30

場所 京都市学校歴史博物館 2階講堂

定員 100名(事前申込み先着順)
詳しくは裏面をご覧ください。

対象 中学生以上

主催 京都歴史文化施設クラスター実行委員会
京都市学校歴史博物館

※手話通訳あり(10日前までに要予約)

聴講料無料(別途入館料¥200が必要)

 京都市学校歴史博物館

〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る橘町437
TEL:075-344-1305 <http://kyo-gakurehaku.jp>

プログラム

1 シンポジウム開催にあたって(10:00-10:05)

2 第一部(10:05-12:00)

「学校資料の活用—京都府・静岡県・長野県—」
和崎 光太郎(京都市学校歴史博物館)

「小学校における学校資料の活用
—開智小学校と旧開智学校—」
遠藤 正教(旧開智学校)

「高等学校と博物館の連携による学校資料の活用」
村野 正景(京都府京都文化博物館)

第一部 質疑応答

3 第二部(13:00-15:00)

「何もないと思える学校で、
学校資料を活用する方略について」
三原 慎吾(大学入試センター)

「学校資料の資料的価値とその活用」
大平 聡(宮城学院女子大学)

「日本教育史研究における学校資料の活用」
宮坂 朋幸(大阪商業大学)

第二部 質疑応答

4 総合討論(15:00-15:30)

お申込み方法

必要事項をご確認の上、下記の方法でお申込みください。定員になり次第、申込を終了させていただきます。

必要事項

- ①シンポジウム申込
- ②氏名(ふりがな) ③参加人数
- ④連絡先電話番号 ⑤FAX番号



075-344-1305

①～④をお伝えください

開館:9時～17時

休館:水曜及び12/28～1/4



075-344-1327

①～⑤を明記のうえ、FAXを送信してください



**rekihaku-jigyou
@edu.city.kyoto.jp**

(パソコンのみ可。携帯不可)

①～④を明記のうえ、送信ください

日本の学校、特に小学校は、明治以来140年以上にわたり、この国と地域社会をかたちづくってきました。戦後には教育機会が拡大され、高度経済成長期にはほとんどの国民が中等教育を受けるようになりました。ゆえに、日本の歴史や地域の歴史、学校の歴史などをふりかえるとき、学校のあゆみを今に伝える学校資料は絶対に必要です。

このようなかけがえのない学校資料は、近年加速化する学校統廃合などによって日々散逸・廃棄が進んでおり、学校資料のレスキュー(収集または現地保存)は急務です。しかし、保存場所が限られているので、すべての学校資料を収集・保存することはできません。そこで立ち上がるのが、「どの学校資料がどのように活用できるのか」という問いです。しかしこの問いは、学校資料の安易な選別基準を生み出し、かえって学校資料の廃棄を加速化させることにもつながりかねません。このように、学校資料の収集・保存・活用は、非常に難しい問題なのです。

この問題を乗り越えるためには、まず、学校資料の活用事例に学びながらも決してそこに留まらず、学校資料に新たな価値と可能性を見出そうとし続けることが必要です。つまり、**今我々が議論し、発信しなければならないのは、「資料の選別基準」ではなく、「資料に価値と可能性を見出そうとする眼差し」なのです。**この眼差しを、一人でも多くの学芸員・アーキビスト・研究者、行政職員、学校の教職員、卒業生、PTA関係者、学区住民、そして児童・生徒とその保護者に伝えることで、これまで「役に立たない」と廃棄されてきたような学校資料でも、「いつか役に立つかも」と見られるようになり、学校資料の収集・保存・活用が進むではないでしょうか(この事例を積み重ねていくことで、ようやく「資料の選別基準」を作成できるのです)。

そこで、本シンポジウムでは、各方面で学校資料を活用している方々にご報告いただいた上で、情報共有と議論を行い、学校資料の価値と可能性について考え、未来の展望を開きます。

シンポジウム提案者 和崎光太郎(京都市学校歴史博物館 学芸員)

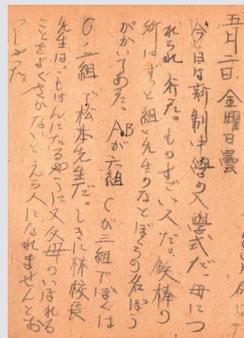
京都市学校歴史博物館からのお知らせ

2011～2016年度新収蔵品展

京都の学校史をたどる —中学校・高等学校編—

ご寄贈いただいた「学校にはなかった学校関連史料」で中学校・高等学校史を振り返ります。

2018年12月15日(土)
～2019年3月24日(日)



1947(昭和22年)5月
(新制中学校が誕生したとき)
中学1年生の日記

[時間] 9:00～17:00(16:30最終入館)

[休館日] 毎週水曜日(祝日の場合は翌平日)、12/28～1/4

京都文化博物館からのお知らせ

京都文化博物館開館30周年記念

京都府内の学校所蔵 考古・歴史資料展2

学校という場だからこそ蓄積された、とても内容豊かでユニークな考古関連資料やその収蔵にまつわる歴史・物語を紹介します。

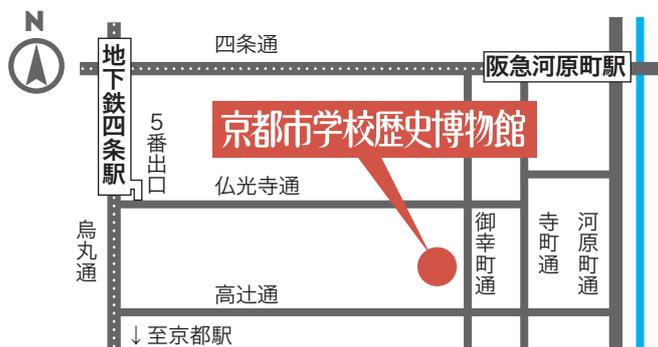
2019年3月9日(土)
～2019年4月21日(日)



高校生による古墳発掘の様子
(京都府立網野高等学校蔵)

[時間] 10:00～19:30(入場は19:00まで)

[休館日] 月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、12/28～1/3



京都市学校歴史博物館

〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る橘町437
TEL:075-344-1305 <http://kyo-gakurehaku.jp>

- ◆阪急「河原町」下車 徒歩約10分 10番出口より南西へ
 - ◆地下鉄烏丸線「四条」下車 徒歩約12分 5番出口より東へ
 - ◆京阪「祇園四条」下車 徒歩約15分 3番出口より南西へ
 - ◆市バス「四条河原町」下車 徒歩約10分 南西へ
 - ◆市バス「河原町松原」下車 徒歩約5分 北西へ
- ※駐車場はございません。※正面入口、御幸町通からお入りください。

この印刷物が
不要になれば
「雑がみ」として
古紙回収等へ!

